

授業科目

聴覚心理学

担当教員名 吉岡 豊	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期b	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		

授業の概要

人が音をどのように感じるのかに関する知識を習得し、言語聴覚士として聴覚の機能を理解する。

授業の目的

補聴器装用に必要なマスキングや両耳能などの聴覚心理学的現象を知る。

学習目標

- 音の受容器としての耳について知識を確認する。
- 音の物理的变化と心理的变化の対応について学ぶ。
- 聴覚心理学に関する用語を理解する。
- 聴覚の機能について学ぶ。
- マスキングの原理について理解する。
- 聴覚特有の現象について実際に体験して理解を深める。
- 騒音について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	音の受容器	講義	吉岡 豊
2	可聴範囲と音の心理量について	講義と体験（一部）	吉岡 豊
3	音の大きさ・高さの知覚、時間分解能	講義	吉岡 豊
4	音の心理的評価方法	講義	吉岡 豊
5	マスキングについて	講義と体験（一部）	吉岡 豊
6	両耳の効果について	講義と体験（一部）	吉岡 豊
7	聴覚心理学的現象について	講義と体験（一部）	吉岡 豊
8	騒音について	講義	吉岡 豊

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	KAIBUNDO	2005年	2,600円+税	
参考書	音の世界の心理学	重野 純	ナカニシヤ出版	2003年	2,600円+税	
	ゼロからはじめる音響学	青木直史	講談社	2014年	2,600円+税	
	聴覚心理学概論	B.C.J.ムーア 著、大串健吾 監訳	誠信書房	1994年	4,500円+税	
	音のイリュージョン	柏野牧夫	岩波書店	2010年	1,200円+税	
その他の資料						

評価方法

定期試験の結果をもって評価する。

履修上の留意点

実際に聴取体験をすると理解が深まるので、時間外であっても積極的な参加を求める。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週水曜9:00～10:00

連絡先：yoshioka@nuhw.ac.jp